

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

2日目【2000年4月15日】

三蔵法師も旅立った出発点〈西安〉前半

西安の街を感じるため、昼前にレンタサイクルで町を一巡してみようと思い立った。ホテルのレンタサイクルを借りに行くと、あるのは古い型のマウンテンバイクのみ。しかもタイヤを見ると空気が抜けている。修理しよう頼むと、返ってきたのは「不明白(プーミンパイ・わからない)」の一言。借りるのは断念。

やむなく徒歩で西安の町に出た。滞在中のホテルが西安の城壁の外にあり、とりあえず西の城壁(安定門)を目指した。やっとの思いで安定門に辿り着き、目の当たりにしたその威容に圧倒された。一瞬にして疲れが吹き飛ばす(忘れる)とは、こんな感情なのか。

西安古城のシンボルである城壁は、高さ12メートル、幅が上部で15メートル、底部で18メートル。これが旧市街中心部を周囲12キロにわたって取り囲んでいる。

そそり立つような城壁の東西南北四カ所に城門が設けられ、ここからどれほど多くの人たちが、シルクロードを西に向かって旅立ったことか。



城壁内のバザール



安定門の中



安定門

住職シター

例年の猛暑以上の、今年は酷暑なる日が続きます。加えて、時々降る豪雨は、夕立のような情緒ある雨とは違って、命の危険を伴います。昔の夕立は、日中の暑さを冷まし、夜は心地よい風をふかしたものです。今は、夜中でも熱風を感じます。この猛暑、盆を過ぎてもおさまりません。いつまで続くのやら。

私が住職を継職した三十年前、本堂内は天井が高いせいか、風が通って涼しかったものです。本堂で法要を勤めておきますと、参拝されていた年配の方が、「肌寒いから天井の扇風機を止めて下さい」と言われるくらいでした。本堂内は心地よい風が通り、昼寝するには、最適な場所だったんですよ。

先日の盂蘭盆会納骨法要、無事に勤め終えましたが、この暑さ故か、いつも以上に疲れたように感じます。年齢のせいもあるのでしょうが、実はもう一つ問題が発生。なんと、本堂外廊下の天井部分に、蜂の巣がありました。しかも、どう猛なスズメバチの巣。帳場の世話人さんが気付いて下さいました。このまま、蜂の巣を放置していたら、巣は大きくなり、スズメバチの数も増えてくるとのこと。よく見れば、数匹のスズメバチが巣の周りを飛び回っていました。参拝された方が、スズメバチに刺されはしないか、そればかりが心配で、余計に疲れたと云う訳です。

夕方、参拝者が帰られた後、世話人さんが、長い竹棒で、見事に蜂の巣を撤去して下さいました。

お盆の期間、

善教寺へお参

りされた方が、

スズメバチに

刺される被害

に遭われるこ



蜂の巣があった本堂外廊下の天井(赤丸印の場所)

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

2日目【2000年4月15日】

S R V @

三蔵法師も旅立った出発点〈西安〉後半

西暦629年には三蔵法師玄奘も、ここを出立した。そのとき玄奘26歳。仏教の原典を求めるインド巡礼の旅への許可を申し出るも、当時の宮廷は、西域諸国との交易を絶っていたことを理由に、拒否。

西域諸国への入国は、誰もが諦めるなか、一人ひそかに、禁断の旅に赴いた玄奘。いったいどのような思いを抱いていたのだろうか？

安定門を見たら帰る予定が、一見して城壁の中は違う雰囲気。漂っていたことに心を奪われた。地元の人が行き交うバザールがあり、何の匂いなのか、きつい香辛料のような刺激臭が漂っていた。かつて世界の首都ともいわれた古都長安。日本の遣唐使もこの匂いをかいだと思われる。

ホテルに帰ったのは夕刻。10キロくらいは歩き廻った。

夜は、ホテルの横にあった屋台で済ませた。ラグメンというイスラム風のうどんと、羊肉の串焼きを食べて30元、日本円で約450円。

西安の印象は、思っていたほど物価は安くない。英語は通じない。私は中国語が全く分からず、コミュニケーションに苦勞した。漢字を使つての筆談が、意外と役立った。二日目なのに、もう一週間くらい滞在している感じがする。



城壁を出た所のバザール



ホテル横の屋台



ラグメンと羊肉の串焼き

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)

九月 十六日(月・祝日) 午後一時半〜

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「護持会報恩講」 (善教寺本堂)

十月 十九日(土)

午前十時〜 朝席

午後一時半〜 昼席

午後三時半 法要終了

講師 広幡康祐師 (呉市安浦町信楽寺)

「報恩講」 (善教寺本堂)

十二月 二日(月)

午前十時〜 朝席

午後一時半〜 昼席

午後三時半 法要終了

講師 河野行昭師 (安芸郡坂町西林寺)

*お接待当番 柏原地区



今後の法要スケジュール

ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp